

問題 I 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。答えは解答用紙の解答欄に書き入れなさい。

著作権の関係により公開しておりません。

(鈴木孝夫『ことばと文化』より一部改変)

問1 下線①～⑤の漢字の読み方をひらがなで書きなさい。

問2 下線a～eのカタカナ部分を漢字を使って書きなさい。

問3 には同じ語が入る。最も適当なものを、(1)～(4)の中から一つ選びなさい。

- (1) 実質的な
- (2) 相対的な
- (3) 物理的な
- (4) 普遍的な

問4 に入るものとして、最も適当なものを、(1)～(4)の中から一つ選びなさい。

- (1) ものにことばを与えるということは
- (2) ものを実体の有無によって区別するということは
- (3) 同じものであればどの言語にも名前があるということは
- (4) 人間がものの名前に客観性を与えるということは

問5 に入るものとして、最も適当なものを、(1)～(4)の中から一つ選びなさい。

- (1) そして
- (2) それでは
- (3) しかし
- (4) だから

問6 に入るものとして、最も適当なものを、(1)～(4)の中から一つ選びなさい。

- (1) 哲学的な
- (2) 帰納的な
- (3) 虚構的な
- (4) 科学的な

問7 下線部「(a)ものとしてのつららが立派に存在するトルコで、「氷」buz と区別された「つらら」ということばがなくても不思議ではない。」とあるが、その理由はなにか、最も適当なものを、(1)～(4)の中から1つ選びなさい。

- (1) ことばとは、人間の手におえるものにつけられたものだから。
- (2) ことばとは、対象の側の必然的な裏付けによってつけられたものだから。
- (3) ことばとは、実体の特性に基づいてつけられたものだから。
- (4) ことばとは、人間が自分を取り巻く世界を見る見方につけられたものだから。

問8 次の文が入るところとして、最も適当なものを、(1)～(4)の中から一つ選びなさい。

だから両者の区別は、単なることばの問題というよりも、ものの側に、それを裏付けるだけの要因があるのだと言う人がいるかも知れない。

- (1) I
- (2) II
- (3) III
- (4) IV

問9 、、に入るものとして、適当ではないものを、(1)～(4)の中から一つ選びなさい。

- (1) 性質
- (2) 運動
- (3) 素材
- (4) 物体

問10 本文で言っていることばの役割とは何か、最も適当なものを、(1)～(4)の中から一つ選びなさい。

- (1) 世界を分断させる
- (2) 世界を秩序づける
- (3) 世界を均一化させる
- (4) 世界を虚構化させる

問題II 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。答えは解答用紙の解答欄に書き入れなさい。

著作権の関係により公開しておりません。

著作権の関係により公開しておりません。

著作権の関係により公開しておりません。

(土屋秀則「言葉・スペクトラム・対話」より一部改変)

問1 下線①～⑤の漢字の読み方をひらがなで書きなさい。

問2 下線㉑～㉓のカタカナ部分を漢字を使って書きなさい。

問3 下線部「(a) スペクトラムという言葉は、スペクトラムとしては存在していない」とはどういうことか、その説明を、「スペクトラムという言葉は、」に続けて、30字以上45字以内で書きなさい。

問4 、には同じ語が入る。最も適当なものを、(1)～(4)の中から一つ選びなさい。

- (1) レトリック
- (2) メタファー
- (3) 記号
- (4) 概念

問5 に入るものとして、最も適当なものを、(1)～(4)の中から一つ選びなさい。

- (1) むしろ、だからこそ
- (2) だから、なおさら
- (3) しかも、そこから
- (4) しかし、そうではなく

問6 に入るものとして、最も適当なものを、(1)～(4)の中から一つ選びなさい。

- (1) あくまで文学的な表現だが
- (2) しいて突き詰めて言うなら
- (3) たとえ冷淡だと言われても
- (4) まさに現実的な立場から

問7 に入るものとして、最も適当なものを、(1)～(4)の中から一つ選びなさい。

- (1) つまり
- (2) さらに
- (3) たしかに

(4) したがって

問8 次の文章が入るところとして、最も適当なものを、(1)～(4)の中から一つ選びなさい。

そうであるなら、私は、一つの言葉“頑張る”を使うときも“頑張らない”を聞くときも、限定された意味としてではなく、深い意味を持った言葉として使いまた聞かなければならぬだろう。もしものこと、話す方と聞く方が違った景色を見ているかもしれないので。

(1) 【 I 】

(2) 【 II 】

(3) 【 III 】

(4) 【 IV 】

問9 本文の筆者が、「(b)精神科の対話においては、心を理解し、対話のなかで和声が生れてくることを待つ力が必要だ」と思うのはなぜか、その理由を、「心の道具としての言葉は、」に続けて、70字以上90字以内で書きなさい。「スペクトラム」「話す人」「聞く人」という語を使うこと。

[以上で日本語の問題は終了です。]